

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所  
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年4月1日(木)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年4月1日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【管理区域内における1～4号建屋平面図の廃棄について】</p> <p>原子力保安検査官が管理区域内において、可燃物用ごみ箱内に「1～4号建屋平面図」のコピーが廃棄されていることを確認。</p> <p>主管グループは、原子力保安検査官からの「廃棄は正しい行為なのか」との気付きを受け確認したところ、構内のゴミ箱に廃棄したことは問題ないが、判読可能な状態だったことは不適合に該当すると判断。</p> <p>当該図面は、汚染検査を受け搬出し、廃棄時に裁断処置を実施予定。</p> <p>今後、汚染レベルの高い場所へ資料を持ち出す際は、袋に入れる等の汚染防止対策をし、作業終了後構外へ搬出し、資料活用後にシュレッダーにかけ、廃棄することを周知する。</p>	G III	3月29日
2	<p>【仮設集積場所における不十分な養生措置について】</p> <p>主管グループが原子力保安検査官より、「仮設集積場所内に一部不燃シート等で覆われていない箇所が存在している」との気付きを受けた。</p> <p>現場を確認し仮設集積場所内で一部不燃シート等で覆われていない箇所が存在しているため、不燃シートを手配した。</p> <p>仮設集積場所の防火対策ルールが遵守できていなかったため、防火対策ルールを再周知の上、不燃シートが届き次第対応予定。</p>	G III	3月29日
3	<p>【既設多核種除去設備(A)系のpH計サンプルポンプ(3A)入口側フランジのにじみ漏えい他について】</p> <p>当直員が現場パトロールにおいて、既設多核種除去設備(A)系のpH計サンプルポンプ(3A)入口側フランジ下部に水たまりとフランジ部ににじみ漏えいを確認。</p> <p>当該フランジを隔離して増し締めを実施し、にじみ漏えい停止を確認。その後隔離を解除して、漏えい試験を行い漏えいなしを確認した後、フランジ下部の水たまりのふき取りを実施。</p> <p>現在、運転しながら様子見中。</p>	G III	3月29日